

第2分科会：学習指導

「主体的・対話的で深い学びの実現」

～キー・コンピテンシーの育成を意識したカリキュラムマネジメントを通して～



令和5年1月31日



日本国憲法、教育基本法、学校教育法、関係諸法

埼玉県教育振興基本計画

羽生市教育振興基本計画

羽生市教育委員会「豊かな学びで 夢と希望が輝く 羽生の教育」

『知・徳・体・コミュニケーション能力』を地域と共に育みます

学校教育目標

- 1 自ら学ぶ生徒
- 2 思いやりのある生徒
- 3 たくましく行動する生徒

生徒の実態

保護者の願い

西中学校三つの「礎」

- 1 あいさつがよくできる
- 2 けじめのある生活ができる
- 3 学校をいつもきれいにしておくことができ

羽生市教育委員会 学力向上R-PCDAサイクルの推進

Research 分析 Plan 授業改善計画 Do 実践
Check 学力アップテスト Act 弱点の補習

目指す生徒像

- 課題解決に向け、ツールを活用できる生徒
 - 多様な集団においてよりよい人間関係を築ける生徒
 - 心身ともに健康で、自律的に行動できる生徒
- 「思慮深く考える生徒」

目指す学校像

夢の実現に向け 生徒にとって学びがい
 教師にとって働きがい 保護者にとって通わせがい
 地域にとって応援しがいのある学校

目指す教師像

- 笑顔で授業にのぞむ教師
- 生徒を愛し、責任を持って育てる教師
- 信頼感のある職場づくりに努める教師

安心・安全な学び舎づくり 3I

I・いのちを大切にする I・いじめを防止する I・インテリジェンス（知恵）を育てる

研究主題 主体的に学び、確かな学力を身につける生徒の育成
 ～キーコンピテンシーの育成を意識したカリキュラムマネジメントを通して～
 スローガン 「よく見て、よく聞いて、よく考えて・・・」

重点

課題設定→見通し→話し合い→振り返り

「西中三つの礎」と「立腰」の定着を図る生徒指導
 「自己決定力」を身に付けさせる「学級指導」 考え議論する道徳の充実
 西中スタイルでわかる喜びを味わう授業
 「歯科保健」を軸とした「食育・保健指導」の充実

課題設定の理由

○生徒の実態から

- ・スケジュール管理、計画性の乏しさ・・・主体性に
- ・無解答率を減少させたい・・・各教科のワークを活用できないか

○学校全体の課題

- ・一人一台端末・・・使ってみよう→学習のねらいに迫るために
- ・学力向上を全教科の取組に
- ・学習指導要領の確実な実施・・・教科指導における習得・活用・探求

ギガスクール構想



研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びの実現」
～キー・コンピテンシーの育成を意識した
カリキュラムマネジメントを通して～

キー・コンピテンシーの定義と 3つのカテゴリー、9つの能力

キー・コンピテンシーはOECD(経済協力開発機構)が行う国際学力調査(PISA)の枠組みの基本です。文部科学省ではこのキー・コンピテンシーを3つのカテゴリーに分け、さらに9つの能力に分類しました。

出典:「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ 補足資料」

※ コンピテンシーとは、日本語で資質や能力を指します。能力といっても単なる知識や技能をだけではありません。技能や態度を含む、さまざまなリソースを活用しながら複雑な要求に対応し、グローバル化や近代化により多様化する世界を生き抜く実践的な能力です。

社会・文化的、技術的ツールを 相互作用的に活用する能力

- A 言語、シンボル、テキストを相互作用的に活用する能力
- B 知識や情報を相互作用的に活用する能力
- C テクノロジーを相互作用的に活用する能力

コンピテンシーの核心
思慮深さ

多様な社会グループにおける 人間関係形成能力

- A 他人と円滑に人間関係を構築する能力
- B 協調する能力
- C 利害の対立を御し、解決する能力

自律的に行動する能力

- A 大局的に行動する能力
- B 人生設計や個人の計画を作り実行する能力
- C 権利、利害、責任、限界、ニーズを表明する能力

研究仮説

キー・コンピテンシーの育成を意識して

教育活動を展開することにより、

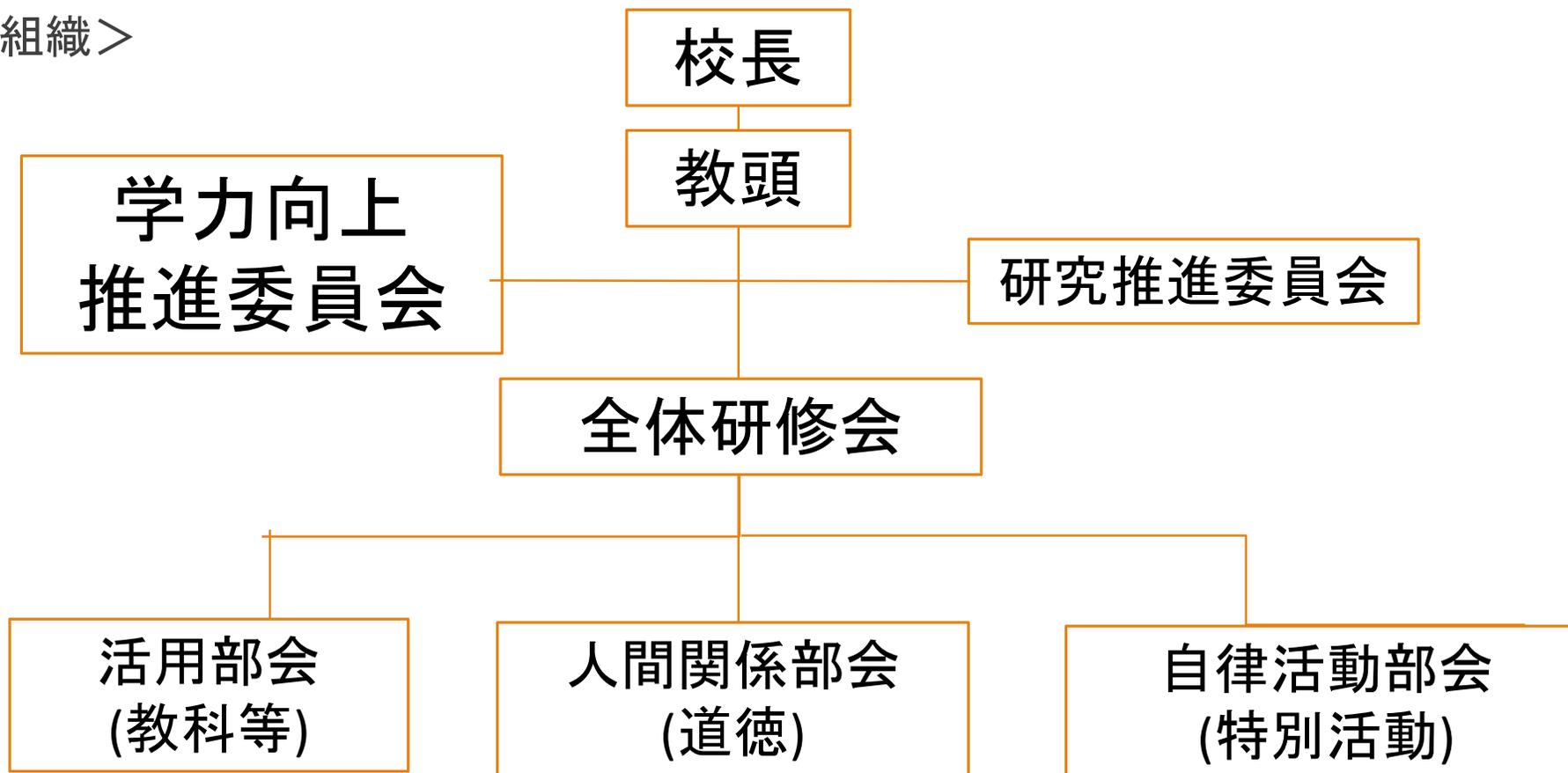
生徒の生活力が向上し、

生徒が主体的に学習に取り組み、

確かな学力が身につくであろう。

具体的な取組

<研究組織>



学力向上推進委員会

○隔週の水曜日4時間目(研修主任・各学年担当)

○キー・コンピテンシーに関する校内研修を企画し、研究計画を立てる。

・キーコンピテンシーに関する自己評価項目の設定

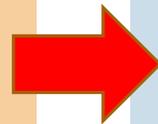
○研究内容と組織(活用部会・人間関係部会・自律活動部会)

スローガン:よく見て、よく聴いて、よく考えて…

目指す生徒像

キー・コンピテンシー3つのカテゴリー

1. 社会・文化的、技術的ツールを
相互作用的に活用する能力
2. 多様な社会グループにおける
人間関係形成能力
3. 自律的に行動する能力



目指す生徒像(思慮深く考える生徒)

- ・課題解決に向け、ツールを活用できる生徒
- ・多様な集団においてよりよい人間関係を
築ける生徒
- ・心身ともに健康で、
自律的に行動できる生徒

【活用部会】(教科指導を通して)

- ・教科におけるキー・コンピテンシーの明確化
- ・個人取組計画シートの作成
- ・生徒に「見通し」を持たせた授業の実施
- ・学力向上だよりによる学習についての啓発
- ・ノート指導の工夫
- ・答えを配らないワークの活用
- ・基礎学力コンテストによる基礎・基本の定着

活用部会

具体的な活動と能力

アンケートでの質問内容

9つの能力

1. 社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力		
能力	評価内容（具体的な活動と能力）	評価（アンケートでの質問は？）
A 言語、シンボル、テキストを相互作用的に活用する能力	自分の考えや感じたことを、目的に応じて文章や言葉で表現できる。	自分の考えや感じたことを、目的に応じて文章や言葉で表現できていますか。
B 知識や情報を相互作用的に活用する能力	知識や文章、表やグラフなど様々な情報を活用し、課題を解決することができる。	今まで学習したことと手元の資料などの情報を活用し、課題解決に取り組むことができますか。
C テクノロジーを相互作用的に活用する能力	タブレットやPCなどの機器を活用し、調べたり表現することができる。	タブレットやPCなどの機器を活用し、調べたり表現することができますか。
2. 多様な社会グループにおける人間関係形成能力（多様な集団における人間関係形成能力）		
能力	評価内容（具体的な活動と能力）	評価（アンケートでの質問は？）
A 他人と円滑に人間関係を構築する能力	一人一人の違いを認め、互いを尊重することができる。	一人一人の違いを認め、互いを尊重することができますか。
B 協調する能力	自分の役割や責任を果たし、他者と協力して課題に取り組むことができる。	自分の役割や責任を果たし、まわりの人と協力して課題に取り組むことができますか。
	ながら課題を解決	自分
	能力)	
	できる。	
	き	
	尋ねたり、自分の	

1 のカテゴリー、社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力
 A 言語、シンボル、テキストを相互作用的に活用する能力

自分の考えや感じたことを目的に応じて文章や言葉で表現できる
 KC1-A



各教科の具体的な活動と能力

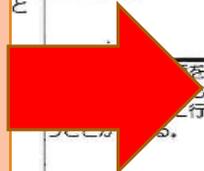
各教科のキー・コンピテンシー 一覧

キー・コンピテンシー	国語	数学	英語	社会	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	
1. 社会・文化的、技術的に活用する能力	A 言語、シンボル、テキストを相互作用的に活用する能力	自分の考えや相手の考えに目的に応じて言葉遣いや構成を考えながら表現することができる。	自分の考えや思考の過程を式・文章・ことばで表現することができる。	場面や状況に応じて、文章化することができる。	資料を参考に、自分の考えを文章や言葉で表現できる。	自分の考えを、文章や言葉で説明することができる。	自分の考えや感じたことを言葉や音楽で説明することができる。	自分の思いやイメージを言葉に置き換え、色と形で表現することができる。	自分の考えを文章及び動作や言葉で表現することができる。	自分の考えや感じたことを、文章や言葉で説明することができる。
	B 知識や情報を相互作用的に活用する能力	複数の文章やデータから情報を整理し、説明したりまとめることができる。	表・グラフ・式・図などを互いに関連づけながら課題解決に向かうことができる。	複数の文章や資料等から情報を整理し、課題解決に向かうことができる。	複数のグラフを比較したり、まとめたしながら、課題の答えを導くことができる。	表やグラフ、数値等を用いて、現象を説明することができる。	楽譜を見て、どのように表現を工夫するべきか説明することができる。	色や形が人の感情にどのように作用するのかを理解し、作品に表現することができる。	体力テストのデータを用いて、課題を発見し、課題解決に向かうことができる。	表・グラフ・図などから情報を整理し、まとめることができる。
	C テクノロジーを相互作用的に活用する能力	資料や機器、辞書を適切に用いながら学習を深めたり、表現したりすることができる。	道具（コンパス・定規）を使って目的に感じた作図ができる。タブレットを活用し、実験・探求することができる。	タブレットやPCを用いて、自分の学習を深め、まとめることができる。	タブレットやPCを活用して、必要な情報を収集し、発信することができる。	実験器具を用いて、実験・観察ができる。PC等を用いて、検査やデータ分析、発表ができる。	タブレットを用いて練習の様子を撮影し、活用することができる。	表現したい内容に応じてタブレット等の機器を活用して調べ、表現することができる。	タブレットを活用し、調べたり、自分や相手の動きを確認し、表現することができる。	タブレットやPCを活用して、学習を深め、まとめることができる。
2. 人際関係形成における人間関係構築能力	A 他人と円滑に人間関係を構築する能力	自分の立場や考えが明確になるように話の構成を考えたり、内容を比較しながら聞いたりすることができる。	相手の考えのよさを認め、自分のことばで伝えることができる。相手のわからないことを把握し、わかりやすく説明できる。	ペア・グループ活動で、自分の考えを相手と共有しながら、学習を深めることができる。	話し合い活動で、異なる意見であっても互いに認め合い、様々な見方・考え方を共有できる。	話し合い活動で、互いの意見を尊重することができる。	鑑賞の活動において、自分とは異なる考えや感じ方を尊重することができる。	鑑賞において、互いのよいところをみつけ伝え合うことができる。	一人一人の違いを認め、積極的に互いを認めようとするすることができる。	話し合い活動で、自分とは異なる考えを認め、相手を尊重することができる。
	B 課題解決・合意形成のために、自分の役割を確かめながら話し合ったり、協力したりすることができる。	課題解決・合意形成のために、自分の役割を確かめながら話し合ったり、協力したりすることができる。	互いの考えを取り入れながら、課題の協働解決ができる。	ペア・グループで協力して課題解決することができる。	様々な資料を比較・検討して、他者の意見をとり入れながら課題解決ができる。	協力して実験や観察などの課題に取り組みることができる。	音楽表現の活動において、教え合いやアドバンスを行うことができる。	協力して授業の準備、共同制作、片付けなどを行うことができる。	自分の役割や責任を果たし、互いに協力して、準備や作	
3. 自律的に行動する能力	C 権利、利害、責任、限界、ニーズを表明する能力	自分ができること、できないことを明らかにして、学び合いに生かすことができる。	ないことを把握し、他者に聞き、自己の課題解決に向かうことができる。	問に思うことを、先生や友人に聞き、解決に向かうことができる。	ないことを明確にし、他者に疑問を尋ねることができる。	疑問に思うこと、要望などを表明することができる。	出来てほしいことなどを伝えることができる。	品を完成させることができる。	能力の程度、性別や障害の有無に関わらず共生し、積極的に活動することができる。	疑問に思うこと、要望など自分の考えをまとめ、発表することができる。

9つの能力

自分の考えや感じたことを目的に応じて文章や言語で表現できる

KC1-A



数学

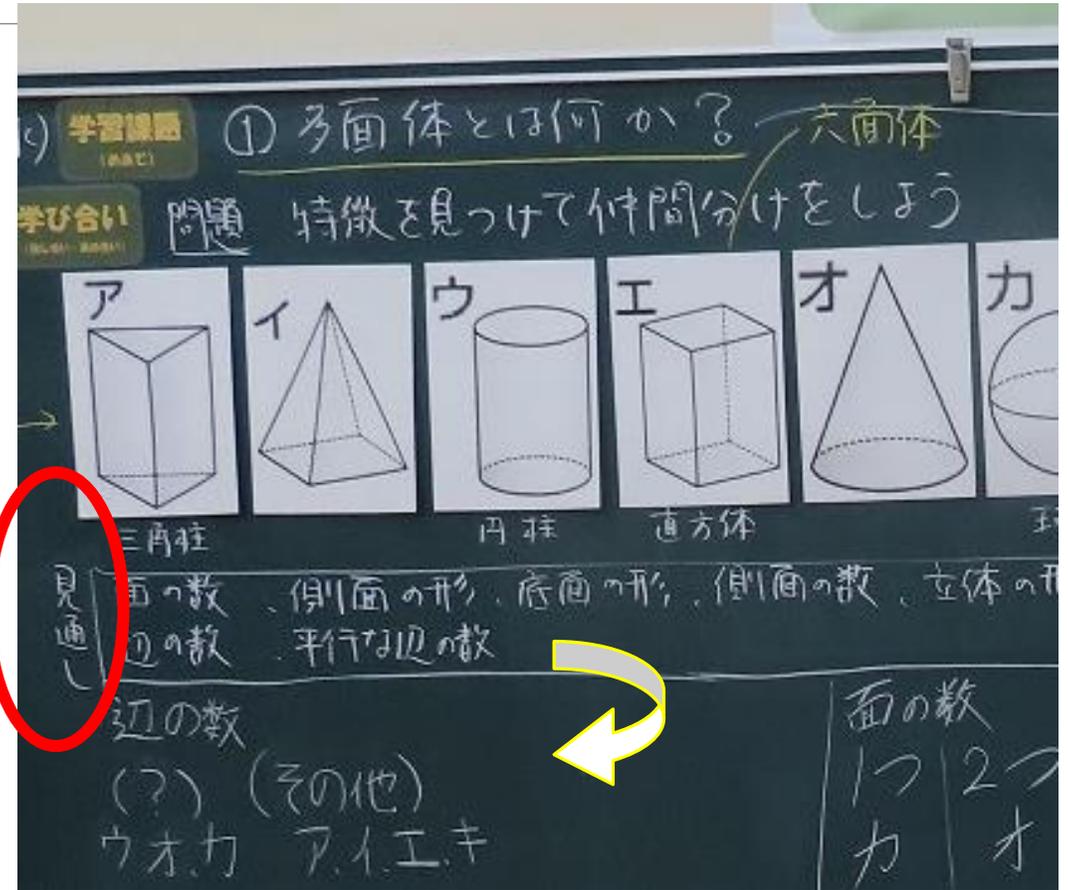
自分の考えや思考の過程を式・文章・ことばで表現することができる

学習過程

学習課題
(めあて)

学び合い
(話し合い・高め合い)

ふい返し
(自分の成長を確認)



令和4年度 校内研修 個人取組計画シート(教科)	
記入例 (色付きの部分のみ入力ください)	
氏名(教科名)	柿沼 和樹 (数 学)
重点k c 能力	3 自律的に行動する能力
3 - B	B 人生設計や個人の計画を作り実行する能力
各教科のk c 評価内容	既習事項から課題解決の見通しを立てて、活用できる。応用問題や証明において、答えや結論にむけて筋道を立てて考えることができる。
重点k c 能力	1 社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力
1 - A	A 言語、シンボル、テキストを相互作用的に活用する能力
各教科のk c 評価内容	自分の考えや思考の過程を式・文章・ことばで表現することができる。
授業公開計画 (目安：学期に1回)	
1 学期	
時期	4～7月
単元名等	正の数・負の数 文字の式
	生徒1人1人に、「本時のねらい」に対しての「見通し」を持たせ、それをもとに授業を組み立てることで、主体的に課題に取り組めるような活動を取り入れる
2 学期	
時期	9月頃
単元名等	方程式
	方程式の解き方 自分の解いた問題について、公式や定理等を使いながら自分の考えを数式や文章で表現し相互作用的に活用する場面を取り入れる (グループ活動での伝え合い)
3 学期	
時期	3月
単元名等	データの活用
	データの読み取り 問題場面に対して、与えられた度数分布表やヒストグラム等のデータから根拠をもって判断し、自分の考えを数や文章で表現し相互作用的に活用する場面を取り入れる (グループ活動での伝え合い)

<個人重点取組>

kc：3-B既習事項から課題解決の見通しを立てて活用できる。

本年度は、毎時間「ねらい」に対して自分なりの「見通し」を持たせることをテーマとして授業を行っている。与えられた解法ではなく、既習事項等から生徒が考え出した「見通し」にそって授業を進め、授業のおわりに「ふり返し」を行うことで、学欲（主体的に学ぶ態度）を向上させていきたい。

<授業例>

学習課題「多面体とは何か」
問題「学習素材の7つの立体を、特徴を見つけて仲間分けしよう」



前単元の平面図形のときの学習内容から本時の課題解決につなげていく。

学力向上 便り



埼玉県学力・学習状況調査の結果

5月に実施した埼玉県学力・学習状況調査の結果から、本校で特に課題となった問題の概要です。学年ごとになっているので、自分の学年に合わせて確認しましょう。

- 1年生 国語…文脈に即して漢字を正しく使う
数学…縮図や線対称な図形についての性質を理解している
- 2年生 国語…文中にあてはまる適切な四字熟語を選択する
数学…簡単な一元一次方程式を解くことができる
英語…会話文の内容や流れにあう表現を選ぶ
- 3年生 国語…文脈に即して漢字を正しく使う
数学…文章を読み連立方程式を解くことができる
英語…位置を表す英語を聞き、正しい絵を選ぶ

昨年度の埼玉県学力・学習状況調査の結果で課題であった

国語では…「読み取ること」

数学では…「思考力・判断力・表現力」

英語では…「正しく文を組み立てること」

が、どの学年も（特に2、3年生）向上していました。引き続き、頑張っていきましょう！

また、全国学力・学習状況調査でも、3年生の国・数において同じような傾向がみられました。なお、全国の調査問題は、国立教育政策研究所のHP (<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>) でも見ることが可能なので、一度目を通してみることをお勧めします！



★ お知らせ ★

毎年1、2年生に実施している**羽生市学力アップテスト**が、**12月上旬に行われる予定です**。11月号で、内容、試験範囲等をお知らせします。



主体的に学習に取り組む態度

突然ですが、問題です。

「G」「A」「K」「K」「O」「U」の6文字を並べ替えて

できる360個の文字列を辞書式に並べるとき、100番

目の文字列を答えなさい。

この問題は、1月の大学入試共通テストの時期にJRの列車に掲示された、ある予備校の広告ポスターに載っていた問題です。

受験生を応援するためのポスターとして掲示されていましたが、「ちょうど100番目」という美しい設定で、素敵なメッセージが込められている奇跡的な問題です。

今年度から各教科の評価の観点が見直され、その1つに「主体的に学習に取り組む態度」があります。その中に「粘り強い取り組みを行おうとする」という側面があります。

要領よく答えを求めめるためには、高校1年生の技能が必要になりますが、中学生でも時間をかければきっと正解が見つかるはずです。

あなたは、次の2つのどちらですか？

難しそうだから自分には無理だなあとあきらめる
頑張ってみようかと考えてみる

今年度「ワークの答えを見ない」取組をしてきた皆さんは、きっと後者であると信じています。

2年生は、ちょうど「場合の数をもとにして求める確率」を学習する時期です。途中で少しコツが見つかるかもしれません。

1年生も、地道に書きだすことにより答えを探してみよう！

数学シート

フ 14① 本時の問題 次の計算の答えを工夫して求めよう。 見通し

$(+2) + (-6) + (+4) + (-2)$

↑ どうして先に計算し
 ↓ どうして計算したあとは
 それぞれをたす。
 ⑤ $(+2) + (-2)$ を先にやる

$(+2) + (-2)$ を先にやる

$(+2) + (-2) = 0$ ← 分りやすい

$(-6) + (+4) = -2$ 答え -2

同じ符号も先にやる

$(+2) + (+4) = +6$
 $(-6) + (-2) = -8$) $(+6) + (-8) = -2$

2つに分ける

$(+2) + (-6) = -4$ $(+4) + (-2) = +2$
 $(-4) + (+2) = -2$

複数の解法が書ける
 ようスペースを広く

自分なりの見通しや
 参考になった友達の考え

振り返り

東習 教科書 p の間 を右側のページに解いてみよう。

振り返り そのまま計算すれば、同じ符号から先に計算したり、0になるものから計算したりすれば、簡単になるということが分かりました。長い式でも、工夫がききかかると、計算はいいです。

【活用部会】(教科指導を通して)

- ・教科におけるキー・コンピテンシーの明確化
- ・個人取組計画シートの作成
- ・生徒に「見通し」を持たせた授業の実施
- ・学力向上だよりによる学習についての啓発
- ・ノート指導の工夫
- ・**答えを配らないワークの活用**
(期間を決め、学校で答え合わせ)
- ・**基礎学力コンテストによる基礎・基本の定着**



基礎学力コンテスト

課題提示 → 家庭学習 → コンテスト → 補習

数学科 第1回数学力コンテスト

1. 次の計算をしましょう。

(1) $4 + (-3)$
 $= 4 - 3$

(2) $2 \textcircled{3} + 1$
 $= -7 + 1$
 $= -(7 - 1)$
 $= -6$

(3) -3×7
 $= -(3 \times 7)$

(4) $-12 \div (-6)$
 $= +\frac{12}{6}$

(5) $5 - 2 \times 6$
 $= 5 - 12$
 $= -(12 - 5)$

(6) $(-3)^2$
 $= (-3) \times (-3) \times (-3)$
 $= -(3 \times 3 \times 3)$

2. 次の計算をしましょう。

(1) $6a - 9a$
 $= (6 - 9)a$

(2) $2x - 2 \textcircled{3} - 3$
 $= (2 + 3)x - 2 - 3$

(3) $4x \times 2$
 $= 4 \times 2 \times x$

(4) $2 \textcircled{5} + 3$
 $= -2 \times 5x - 2 \times 3$

(5) $3x - 6 \div 3$
 $= \frac{3x}{3} - \frac{6}{3}$

(6) $3 \textcircled{4} + 3 \textcircled{2} (x - 2)$
 $= |2x + 9 - 2x + 4$
 $= (12 - 2)x + 9 + 4$

3. $x = 4, y = -3$ のとき、次の式の値を求めましょう。

(1) $2x - 3$
 $= 2 \times 4 - 3$
 $= 8 - 3$

(2) $-3x + 2y$
 $= -3 \times 4 + 2 \times (-3)$
 $= -12 - 6$
 $= -(12 + 6)$

4. 次の関係を式で表しましょう。

(1) 1本 a 円のペン4本と1冊 b 円のノート3冊の合計金額
 $a + a + a + a + b + b + b$

(2) 時速 2 km で x km 歩いたときにかかった時間
 $\frac{x}{2}$

5. 次の関係を等式または不等式で表しましょう。

(1) a 人が1人 300 円ずつ出して、 b 円の花束を買ったら、 60 円残った。
 $300a - b = 60$

(2) ある水族館では、おとな1人 x 円、子ども1人 y 円の入館料である。おとな2人、子ども4人で入館したところ、 5400 円を入館できた。
 $2x + 4y = 5400$

6. 次の方程式を解きましょう。

(1) $x + 7 = 5$
 $x = 5 - 7$

(2) $\frac{-6x}{-6} = \frac{-24}{-6}$
 $x = 4$

(3) $-5x = 18 - 2x$
 $-5x + 2x = 18$
 $-3x = 18$
 $x = \frac{18}{-3}$
 $x = -6$

(4) $7x - 12 = -8 + 3x$
 $7x - 3x = -8 + 12$
 $\frac{4x}{4} = \frac{4}{4}$
 $x = 1$

(5) $17 - 3x = 2x + 7$
 $-3x - 2x = 7 - 17$
 $\frac{-5x}{-5} = \frac{-10}{-5}$
 $x = 2$

1	(1) 1	(2) -6	5	(1) $300a - b = 60$
	(3) -21	(4) 2	6	(2) $2x + 4y = 5400$
	(5) -7	(6) -27	(1) $x = -2$	(2) $x = 4$
2	(1) $-3a$	(2) $5x - 5$	(3) $x = -6$	(4) $x = 1$
	(3) $8x$	(4) $-10x - 6$	(5) $x = 2$	
	(5) $x - 2$	(6) $10x + 13$	(1) $x = 6$	(2) $x = -8$
3	(1) 5	(2) -18	(3) $x = -18$	(4) $x = -\frac{13}{6}$
4	(1) $4a + 3b$	(2) $\frac{x}{2}$ (km)	(5) $x = 4$	(6) $x = 3$
1年組番			千	
氏名			/ 2 3 / 6	



パーフェクト賞

【人間関係部会】 (道徳教育や生活指導を通して)

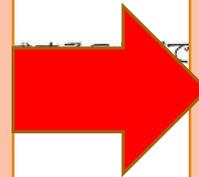
- ・道徳教育や生活指導におけるキー・コンピテンシーの明確化
- ・教育相談等の視点から、効果的な指導内容や方法の検討
- ・道徳の相互授業参観・ローテーション授業の実施
- ・外国籍の生徒との関わりを通じた国際理解
- ・よりよい人間関係を構築するためのソーシャルスキルの向上

人間関係部会

2. 多様な社会グループにおける人間関係形成能力 (多様な集団における人間関係形成能力)		
能力	評価内容 (具体的な活動と能力)	評価 (アンケートでの質問は?)
A 他人と円滑に人間関係を構築する能力	集団の中で互いの個性を認め、尊重し合うことができる。	相手のことを思いやる行動をとることができますか。
B 協調する能力	集団の中で、他者と協力して活動することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人と協力して活動することができますか。 ・自分の仕事に責任をもって、取り組むことができますか。

2の 카테고리、多様な社会グループにおける人間関係形成能力

A 他人と円滑に人間関係を構築する能力



集団の中で互いの個性を認め合い、尊重し合うことができる

KC2-A

教育相談等の視点から、効果的な指導内容 や方法の検討



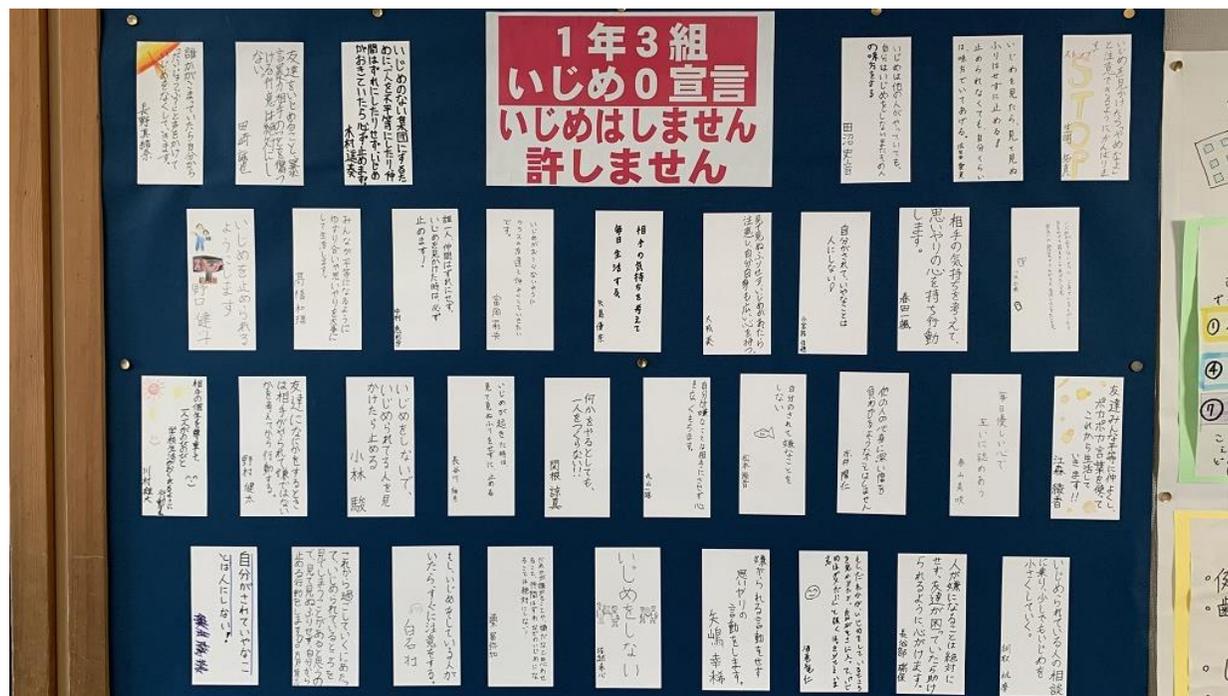
道徳授業

相互参観授業・ローテーション授業



いじめに関する道徳の授業の計画的な実施

重点項目に 個性の伸長、相互理解・寛容、
公正・公平・社会正義



よりよい人間関係づくり



あいさつ運動



【自律活動部会】 (学活や特別活動を通して)

- ・特別活動におけるキー・コンピテンシーの明確化
- ・学級会活動の継続的な実施による課題解決能力の向上
- ・行事等のカリキュラムに対する位置づけを検討
- ・生徒主体の行事や集会等の実施
- ・生徒のスケジュール管理能力を育成する、週間スケジュール、システム手帳の活用

自律活動部会

3. 自律的に行動する能力		
能力	評価内容（具体的な活動と能力）	評価（アンケートでの質問は？）
A 大局的に行動する能力	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動や専門委員会、学校行事において、活動の目的や意味を大切にしながら活動を行う。 学校生活の様々な活動において、その目的や意味を大切にしながらスケジュール管理を行い、行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会に目的や目標をもって、取り組むことができますか。 専門委員会や係活動、学校行事に目的や目標をもって、取り組むことができますか。 自身の勉強や部活動などに対して、目的や目標を意識してそのスケジュール管理を行うことができているか。
B 人生設計や個人の計画を作り	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動や専門委員会、学校行事において、それぞれの活動にむけた計画を立て、実践と見直しを繰り返す。 スケジュール管理において、自身の勉強や部活動の計画を立て、実践と見直しを繰り返す。 自身の進路選択において、将来を見据えた計画を立て、その実現に向けて取り組むことを繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会でみんなで計画したことを実行し、反省点を見直すことができましたか。 専門委員会や係活動、学校行事で計画したことを実行し、反省点を見直すことができましたか。 自身の勉強や部活動などについて、計画を立てて実行することができましたか。

3のカテゴリー
自律的に行動する能力

A 大局的に行動する能力



取組全体の予定や流れを考え、
行動することができる

KC3-A

行事の位置づけ



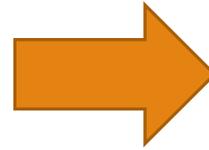
生徒主体の行事



学級会活動の継続的な実施による課題解決能力の向上



生徒による スケジュール管理



- ・毎週金曜の朝に、
 - ①全体に関わる次週の予定を生徒会から
 - ②クラスの予定を週間予定表に

フォーサイト手帳

今週
やること

今週の振
り返り

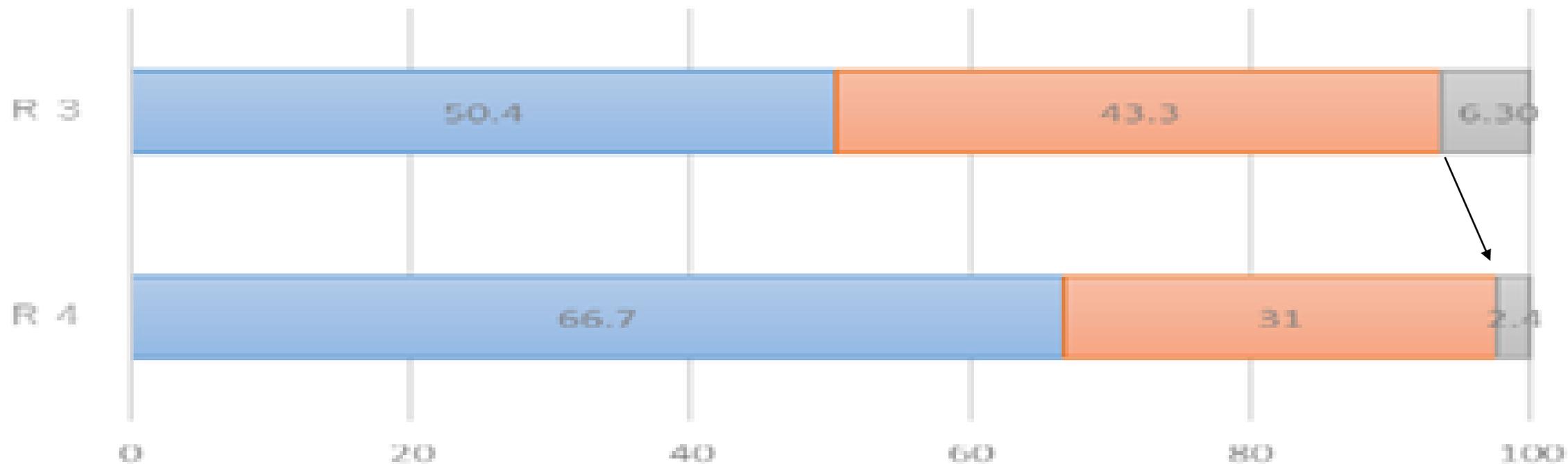
来週に
向けて

その日に
やること・
持ち物など

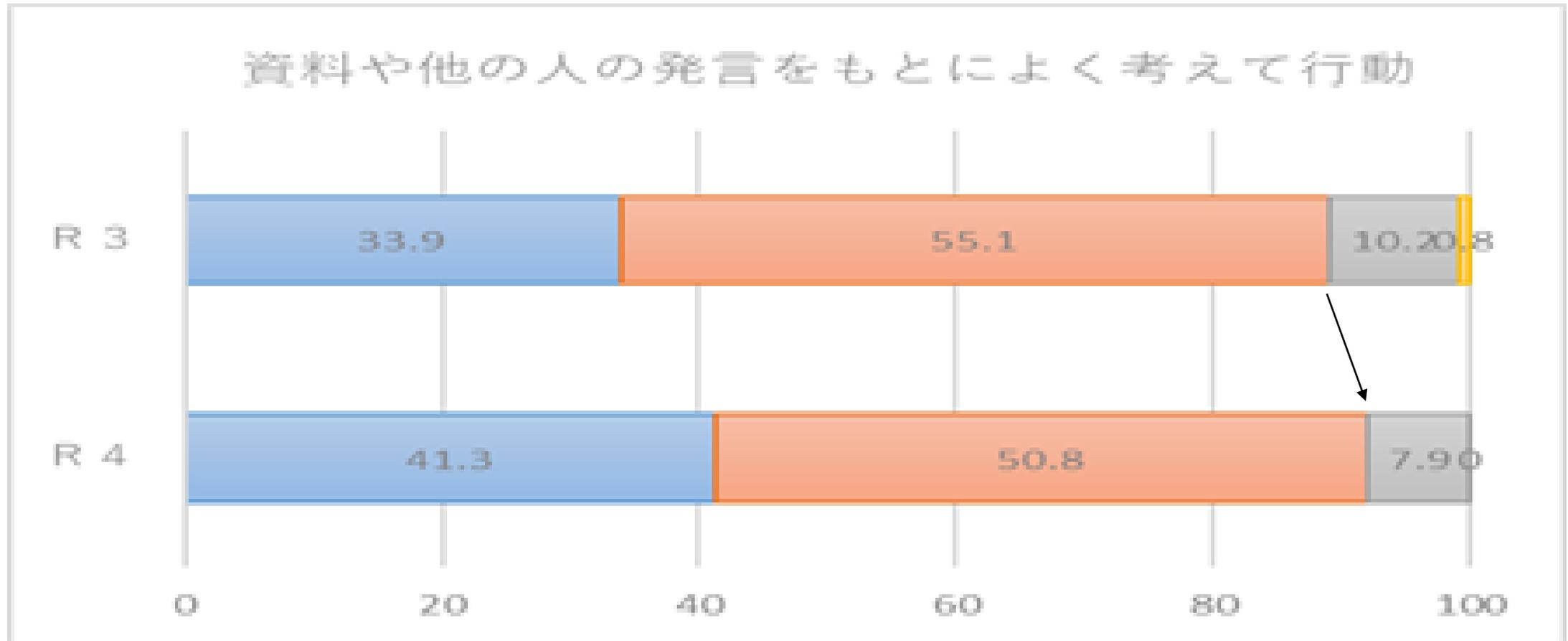
10 October	3 Monday	4 Tuesday	5 Wednesday	6 Thursday	7 Friday	8 Saturday	9 Sunday
今週やること	女子服着校 名札 Unit 4 単語	全校朝会	専門委員 家庭学習	数学		英語復習 1 英単語 2 理単テ勉強	3 数学復習 4 国社復習 5 英単語 6 英単語 7 英語 8 英語 9 英語 10 英語 11 英語 12 英語 13 英語 14 英語 15 英語 16 英語 17 英語 18 英語 19 英語 20 英語 21 英語 22 英語 23 英語 24 英語
ふりかえり 今週の自分の点数 92 / 100点							
★ほめ! ポイント							
★さらに! ポイント							
★来週にむけて							
勉強時間のきろく							
今週の時間集計 (1マス = 15分・30分・1時間)							
今週の名義							

成果と課題 アンケート結果から(2年生)

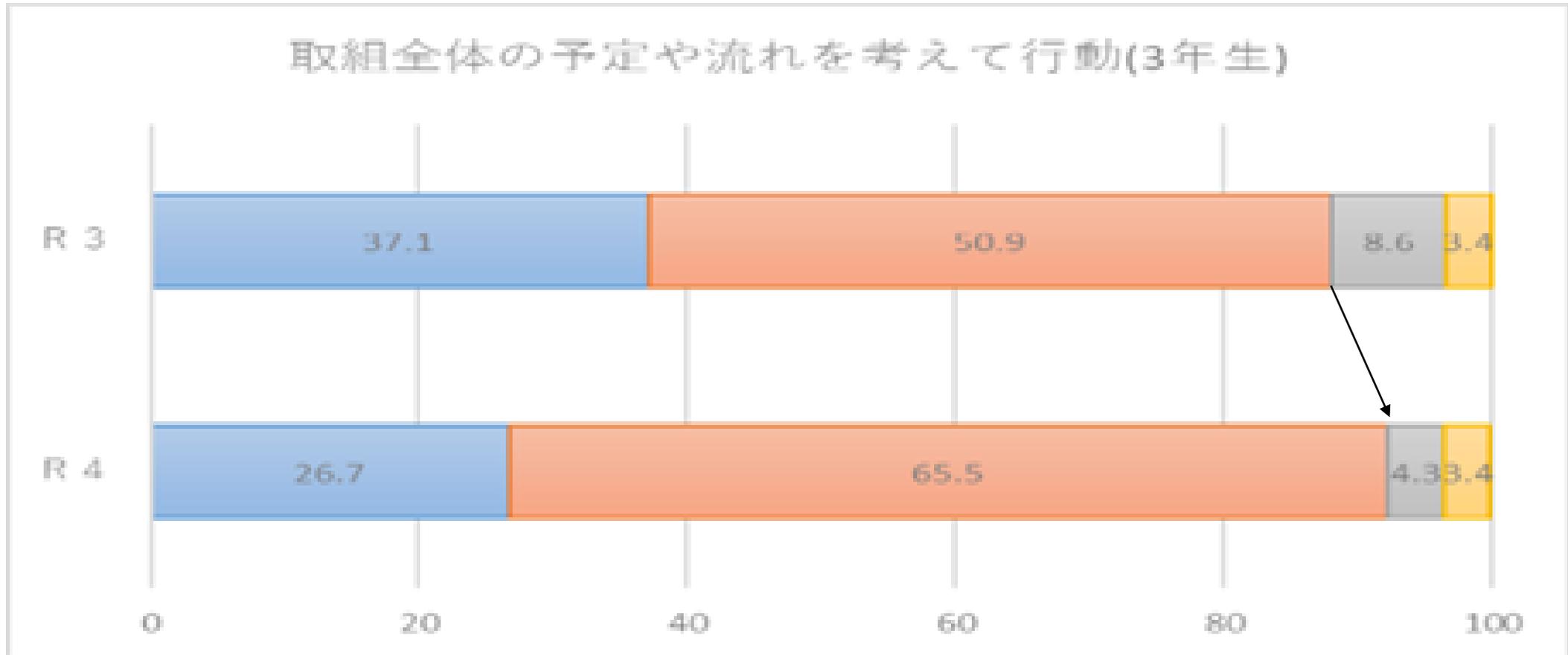
違いを認め、互いを尊重(2年生)



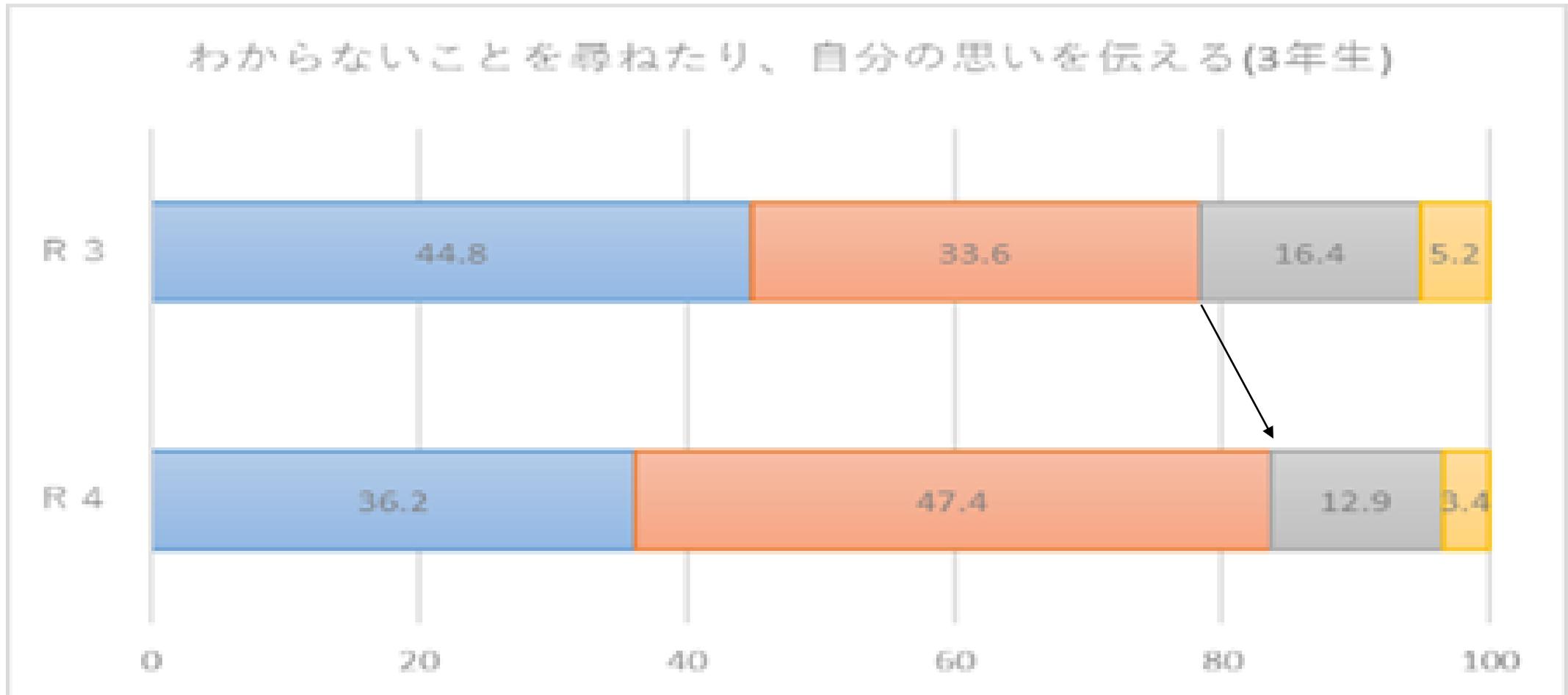
(2年生)



アンケート結果から(3年生)



(3年生)



県学調：無解答率の減少（3年生）

国語

・昨年度
 ・県・ 3.3 %
 本校 4.8 %
比較 + 1.5 %

県比較で
 2%改善



・今年度
 ・県・ 3.5 %
 本校 3.0 %
比較 - 0.5 %

数学

・昨年度
 ・県・ 4.1 %
 本校 3.5 %
比較 - 0.6 %

県比較で
 0.5%改善



本年度
 ・県・ 7.1 %
 本校 6.0 %
比較 - 1.1 %

英語

・昨年度
 ・県・ 1.5 %
 本校 1.8 %
比較 + 0.3 %

県比較で
 0.6%改善



本年度
 ・県・ 3.4 %
 本校 3.1 %
比較 - 0.3 %

教師の自由記述から

○各教科におけるキー・コンピテンシーを具体化することで、日頃から、身につけさせたい資質・能力を意識しながら教科指導にあたることができた。

○答えを配らないワークの取組を通して、ねばり強く問題に取り組もうとする生徒が増え、普段から生徒が質問にくる頻度も高まり、主体的に学習に取り組む生徒の姿が見られた。

○週間スケジュールの活用により、学校生活のさまざまな取組において、先を見て行動する意識が高まった生徒が多い。

○学校行事や学級での生活で、生徒会、代表委員等、さまざまな立場の生徒に、計画、実行させる場面を多く設定することで、生徒主体での運営が定着してきた。

◆感覚的な変容をどのように見取るかについて、まだ検討の余地がある。

◆システム手帳の活用について、「これからのこと」を書いて活用していきたいが、まだまだ「ふり返し」がメインになってしまう。肌身離さず生徒が手帳を持ち歩き、いつでも確認できるシステムを確立する必要を感じた。

ご静聴ありがとうございました。



令和5年1月31日